

令和8年台風第6号に伴う大雨への 対応状況

《第1報》 ※6月10日一部修正

令和8年6月5日

国土交通省 近畿地方整備局
河川部

※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

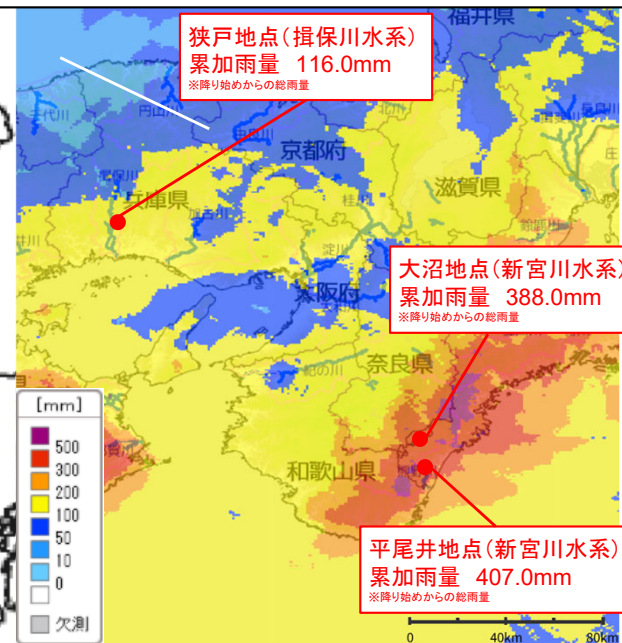
近畿地方の河川の概要

国管理河川の水位状況

※6月5日18時00分 時点

○6月2日より、台風第6号の影響により近畿地方では大雨となり、新宮川水系相野谷川は計画高水位を超過。
 ○熊野川水系市田川では避難判断水位を超過し、揖保川水系林田川は氾濫注意水位を超過。

累加レーダ雨量(期間:6月2日~3日 12:00)



◀: ダム ◁: 建設中ダム
 (機): (独)水資源機構ダム

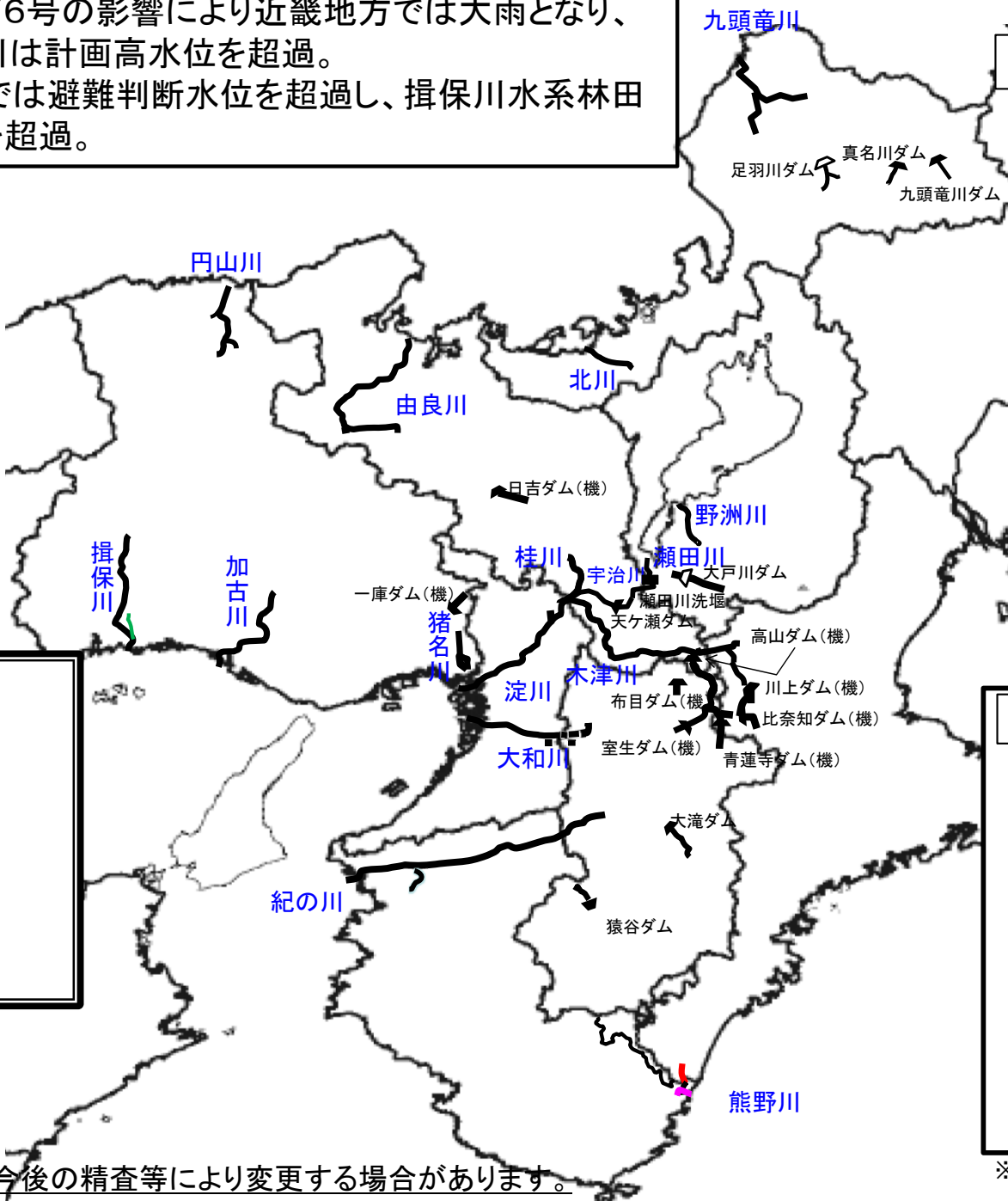
凡例

- 計画高水位超過
- 氾濫危険水位超過
- 避難判断水位超過
- 氾濫注意水位超過

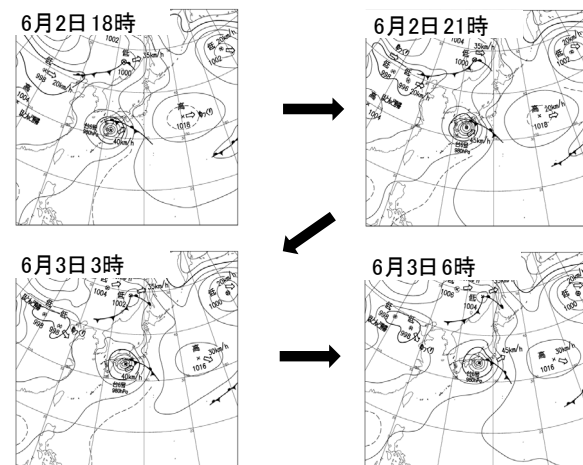
<国管理河川>

※()内は水位観測所

- 計画高水位超過
 【新宮川水系】
 相野谷川(高岡)
- 避難判断水位超過
 【新宮川水系】
 市田川(下田)
- 氾濫注意水位超過
 【揖保川水系】
 林田川(誉)



天気図



※気象庁HPより

※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

※6月5日18時00分 時点

府県管理河川(近畿地整管内)のうち氾濫危険水位を超過した河川は4河川となった。

河川出水状況(府県管理河川)

● 氾濫発生水位超過

和歌山県<2河川>

【古座川水系】古座川

【太田川水系】太田川

● 氾濫危険水位超過

和歌山県<2河川>

【熊野川水系】熊野川

【周参見川水系】周参見川

国管理河川における洪水予報、水防警報発令状況

※6月5日18時00分 時点

台風第6号により、6月2日、管内の直轄管理河川10水系のうち、レベル3氾濫警戒情報を2河川で、レベル2氾濫注意情報を1河川で発表。

■洪水予報及び水位周知情報

水系	河川	基準観測所	発表の種別※		発表日時	解除日時
新宮川	市田川	下田	水位周知	レベル3氾濫警戒情報	6月3日 2:00	6月3日 5:40
新宮川	相野谷川	高岡	水位周知	レベル3氾濫警戒情報	6月3日 1:40	6月3日 10:50
揖保川	林田川	誉	水位周知	レベル2氾濫注意情報	6月3日 5:10	6月3日 10:40

※発表の種別について

- ・国や都道府県が管理する河川のうち、洪水により大きな損害を生ずる河川については、国土交通省または都道府県と気象庁が共同で、河川を指定して洪水予報・水位周知を実施。
- ・洪水予報指定河川は、流域面積が大きい河川で、洪水により国民経済上重大または相当な損害を生じる恐れがある河川。
- ・水位周知河川は、洪水予報河川以外の河川のうち、洪水により国民経済上重大または相当な損害を生じる恐れがある河川で、避難判断水位(特別警戒水位)を定めて、この水位に到達した旨の情報を出す河川。

国管理河川における洪水予報、水防警報発令状況

※6月5日18時00分 時点

管内の5河川に対して、水防法に基づく水防警報を発表。

■水防警報

水系	河川	基準観測所	水防警報の種類	発表日時	解除日時
新宮川	相野谷川	高岡	出動	6月2日 23:50	6月3日 10:50
新宮川	熊野川	成川	出動	6月3日 3:50	6月3日 5:50
新宮川	市田川	下田	出動	6月3日 2:00	6月3日 5:40
揖保川	林田川	誉	出動	6月3日 5:10	6月3日 9:35
加古川	万願寺川	万願寺	準備	6月3日 4:40	6月3日 9:35

※水防警報とは、河川が所定の水位に達した際に、防災機関(水防団や消防機関など)の出動の指針とするために発表するもの(水防法第16条)。

国土交通大臣または都道府県知事は、河川、湖沼又は海岸を指定して、水防管理団体の水防活動に指針を与えるため、河川の洪水予報等の一般の方への情報より早目に、より低い水位で段階的に水防警報を発表することとしています(水防法第16条)。

事前の対応

ダムの事前放流の実施状況

- ・台風第6号の大雨に備え、近畿管内の1級水系では、県と水資源機構が管理する2ダムで事前放流を実施。
- ・2級水系では2ダムで事前放流を実施。

凡例

- 府県管理ダム
- 水資源機構管理ダム



事前放流実施ダム

2級水系
武庫川水系

あおの
青野ダム(武庫川)【兵庫県】

事前放流実施ダム

1級水系
淀川水系

たかやま
高山ダム(名張川)【水資源機構】

ひなち
比奈知ダム(名張川)【水資源機構】

事前放流実施ダム

2級水系
古座川水系

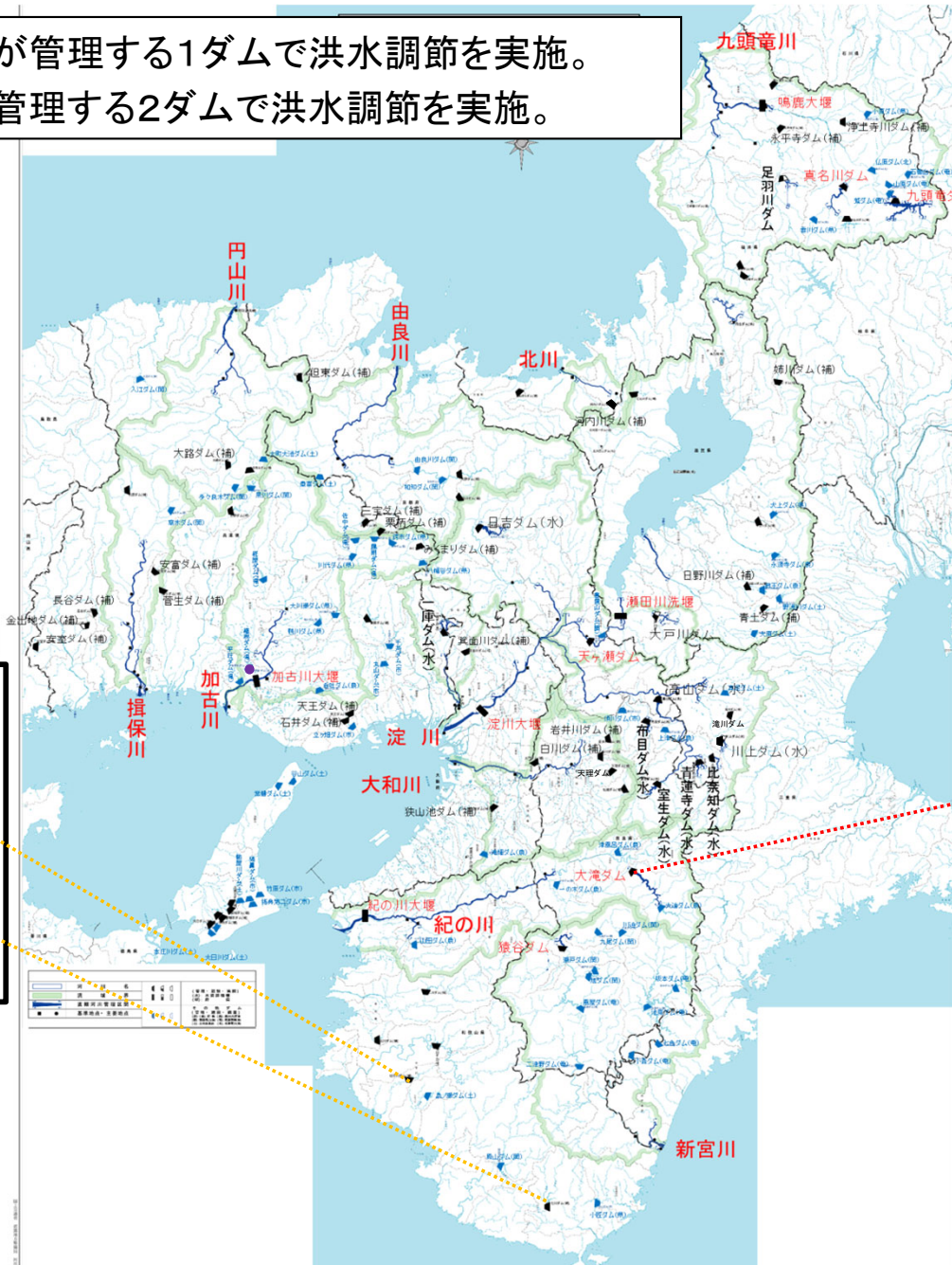
しちかわ
七川ダム(古座川)【和歌山県】

※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。 7

※6月5日18時00分 時点

ダムの洪水調節の実施状況

- 1級水系では、国土交通省が管理する1ダムで洪水調節を実施。
- 2級水系では、和歌山県が管理する2ダムで洪水調節を実施。



洪水調節実施ダム

2級水系

切目川水系

きりめがわ
切目川ダム(切目川)【和歌山県】

古座川水系

しちかわ
七川ダム(古座川)【和歌山県】

凡例

- 国土交通省管理ダム
- 府県管理ダム

洪水調節実施ダム

1級水系

紀の川水系

おおたき
大滝ダム(紀の川)【国土交通省】

※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。 8

国管理河川における排水機場操作状況

○国管理の排水機場1施設で、ポンプ排水を実施。

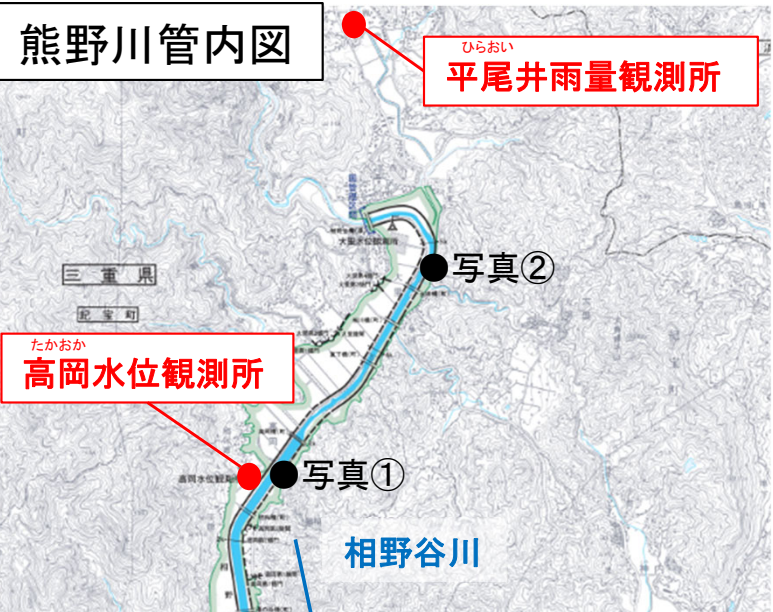
No.	事務所	水系名	河川名	施設名	操作・運転状況				
					閉操作/ポンプ始動		開操作/ポンプ始動		
					年月日	時刻	年月日	時刻	総排水量 (千m3)
①	紀南	新宮川	市田川	市田川 排水機場	R8.6.3	1:10	R8.6.3	8:50	562



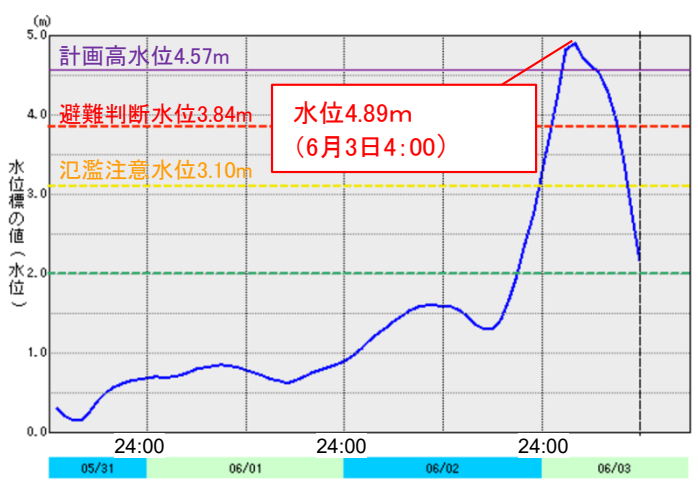
※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

出水の概要

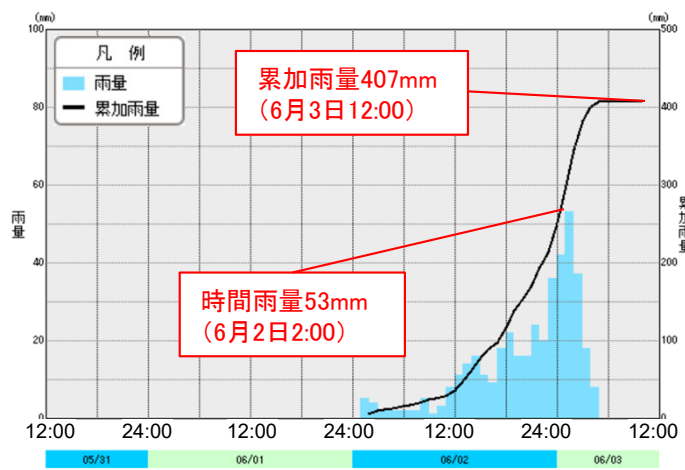
出水の概要(新宮川水系相野谷川)



■ 水位の状況(高岡水位観測所)



■ 降雨の状況(平尾井雨量観測所)



写真①



相野谷川右岸2.1k地点 6月3日(水) 04:40

写真②



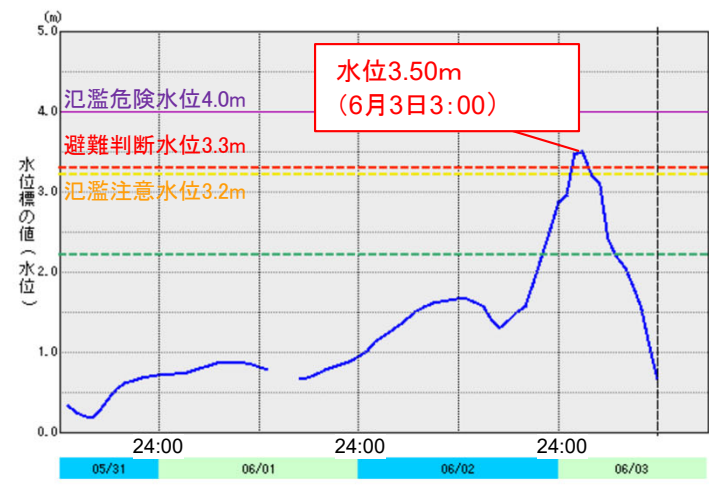
相野谷川右岸3.6k地点 6月3日(水) 04:00

※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。11

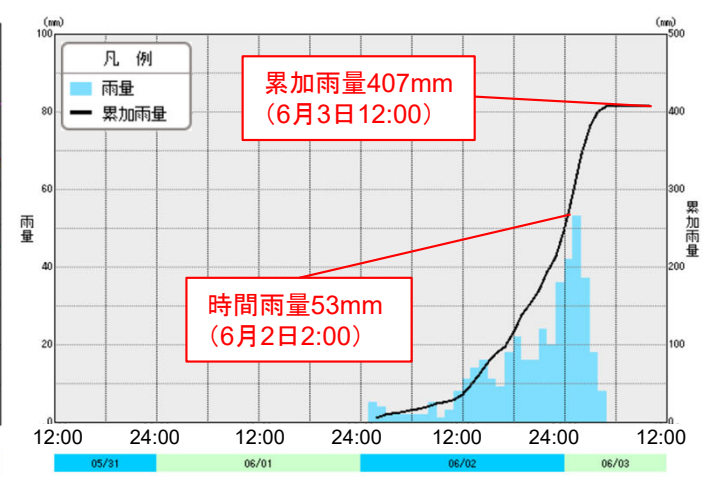
出水の概要(新宮川水系市田川)



■ 水位の状況(下田水位観測所)



■ 降雨の状況(平尾井雨量観測所)



市田川左岸1.9k地点 6月3日(水) 03:00

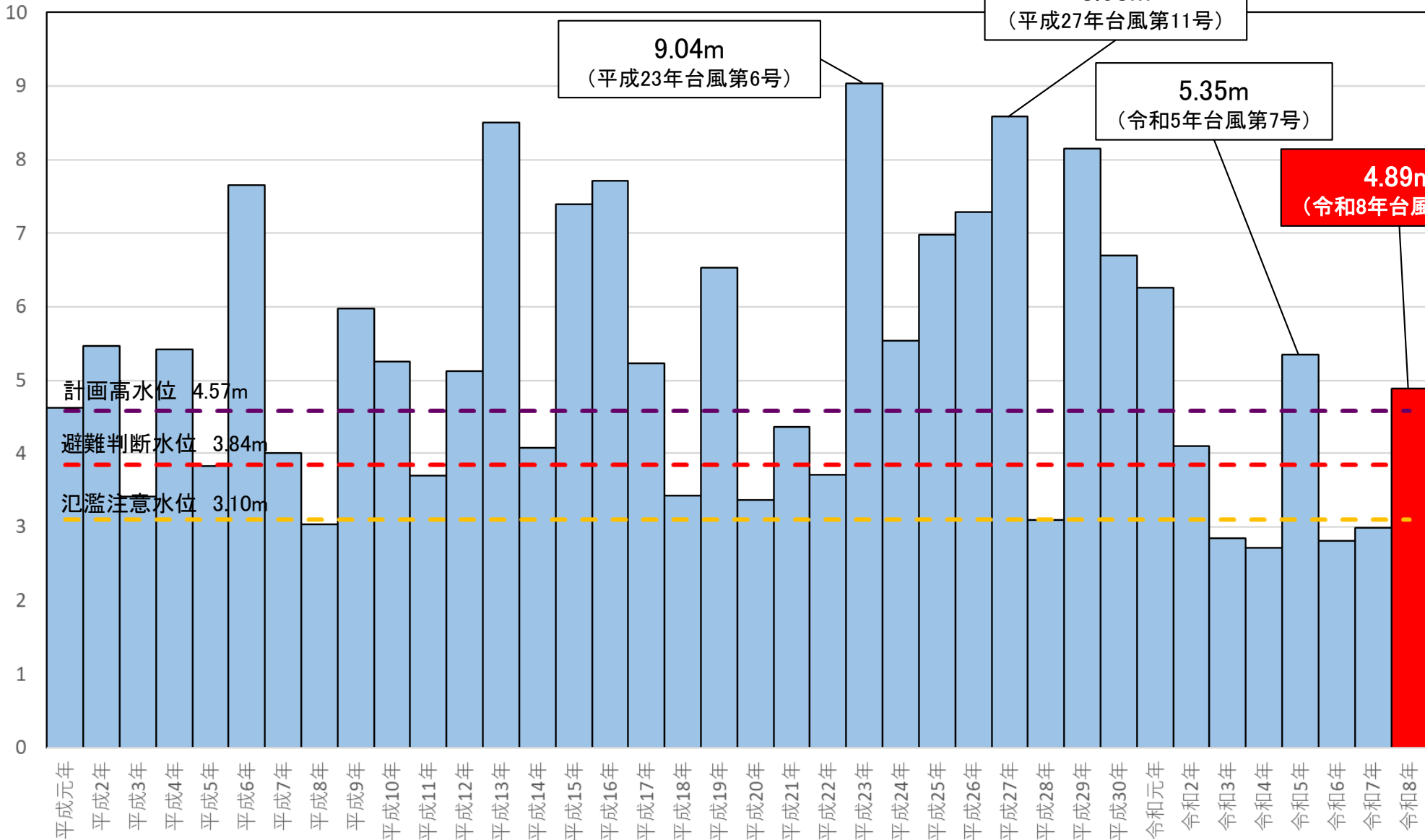


市田川左岸1.1k地点 6月3日(水) 03:00

出水の概要(新宮川水系相野谷川)

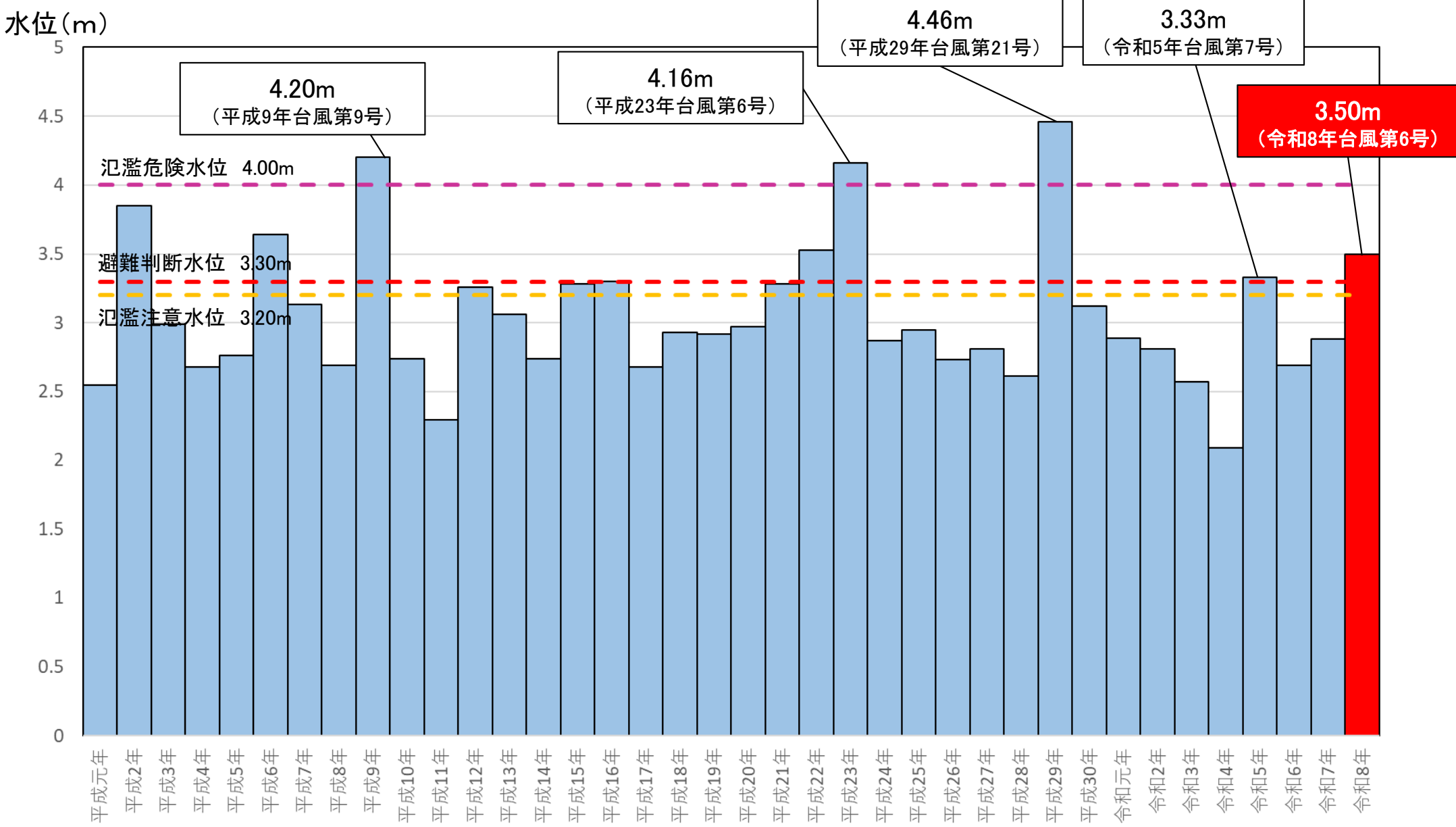
■ 既往洪水での相野谷川(高岡水位観測所)における水位(正時データ)

水位(m)



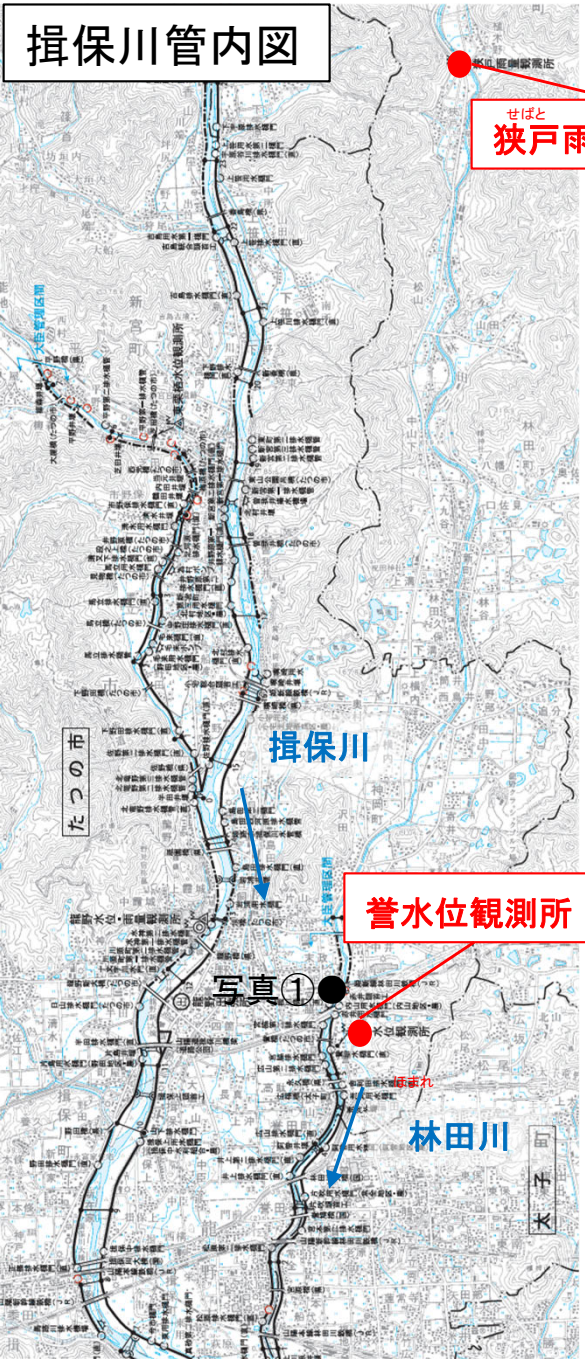
出水の概要(新宮川水系市田川)

■ 既往洪水での市田川(下田水位観測所)における水位(正時データ)

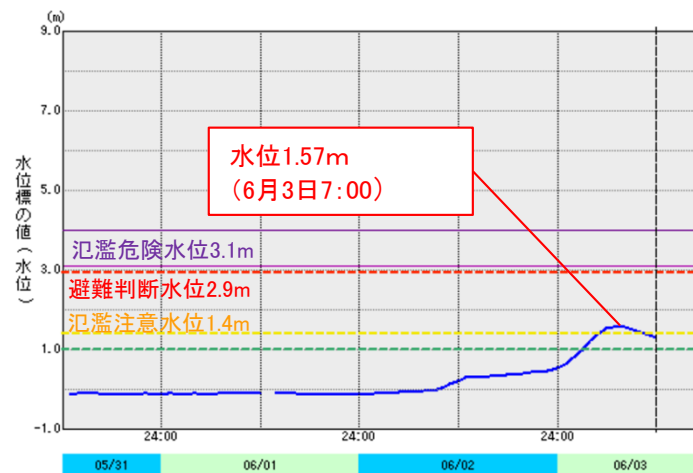


※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。14

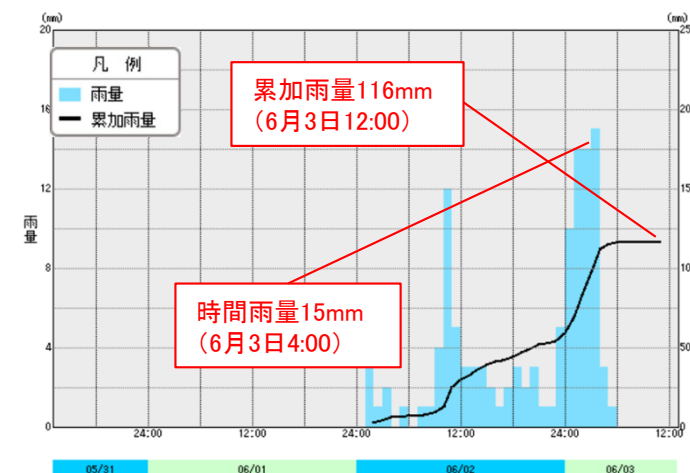
出水の概要(揖保川水系林田川)



■ 水位の状況(菅水位観測所)



■ 降雨の状況(狭戸雨量観測所)



写真①

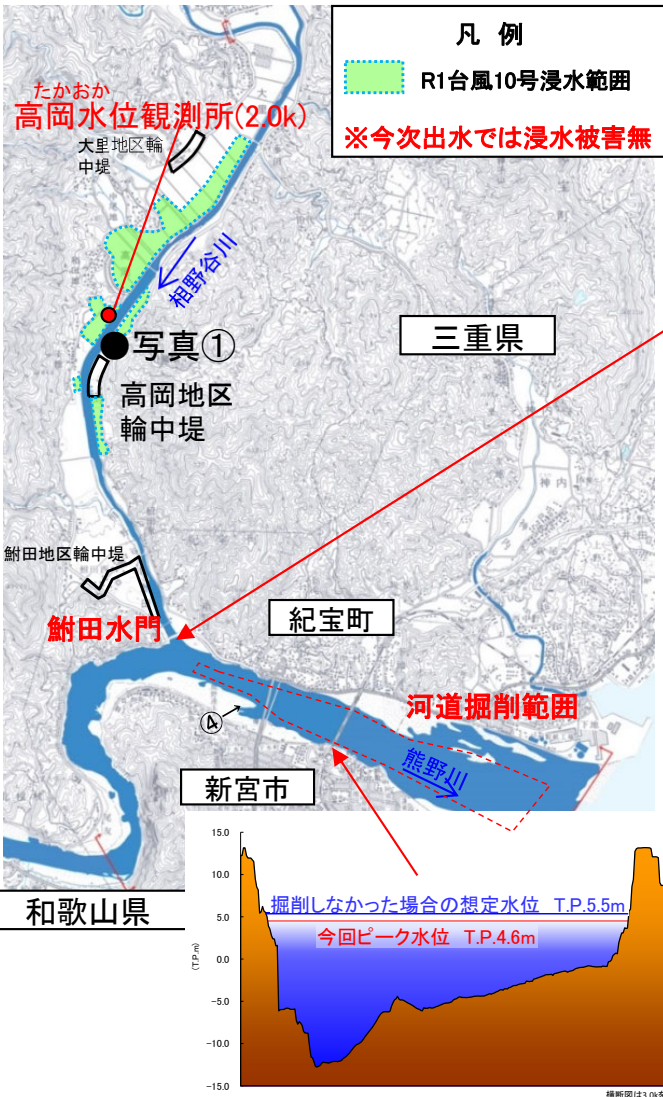


林田川左岸2.1k地点 6月3日(水) 07:00

対策等の効果

【熊野川】 熊野川の河道掘削が効果を発揮(速報)

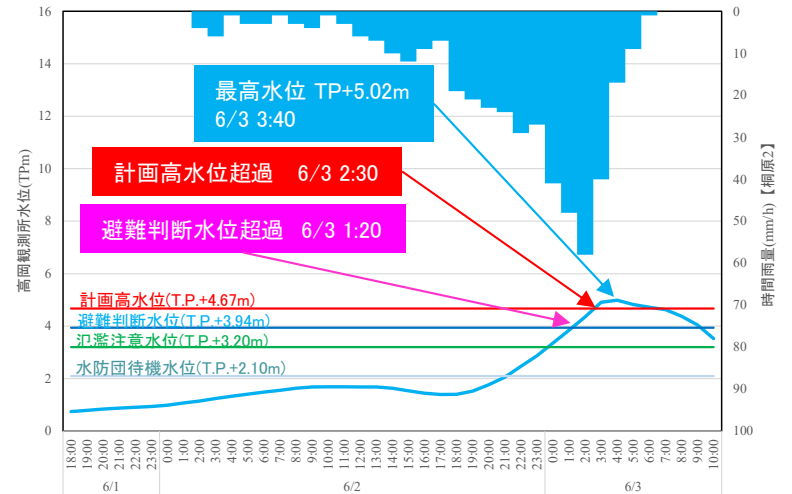
- 熊野川では、平成23年台風対応の河川激甚災害対策や河川整備計画に基づく河道掘削により、台風6号の出水に対して、約0.9m水位を低下することで鮎田水門の閉鎖を回避。
- 熊野川支川相野谷川では幸い浸水被害は発生しなかったが、自己流による高岡地点の最高水位が計画高水位を超過し、仮に熊野川本川の河道掘削を行っていなければ、鮎田水門が閉鎖により、相野谷川の水位が上昇し、田畑が約30ha浸水していたと推測。(今次出水に比べ、令和元年洪水では高岡地点最高水位が約1m程度高い)



河道掘削により鮎田水門地点の水位は約0.9m低下



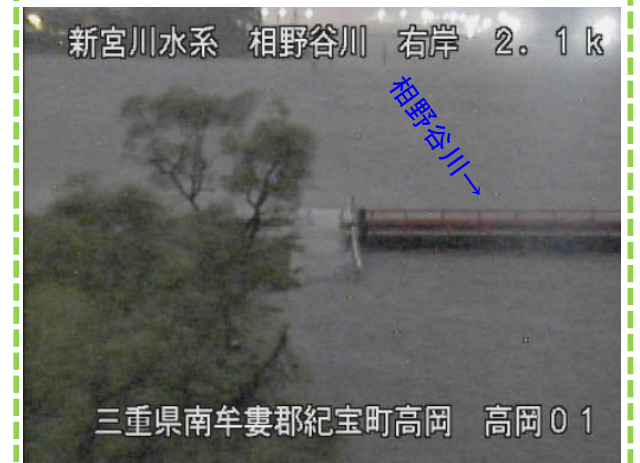
高岡水位観測所における水位



写真① 令和8年台風6号時の水位(5.02m)

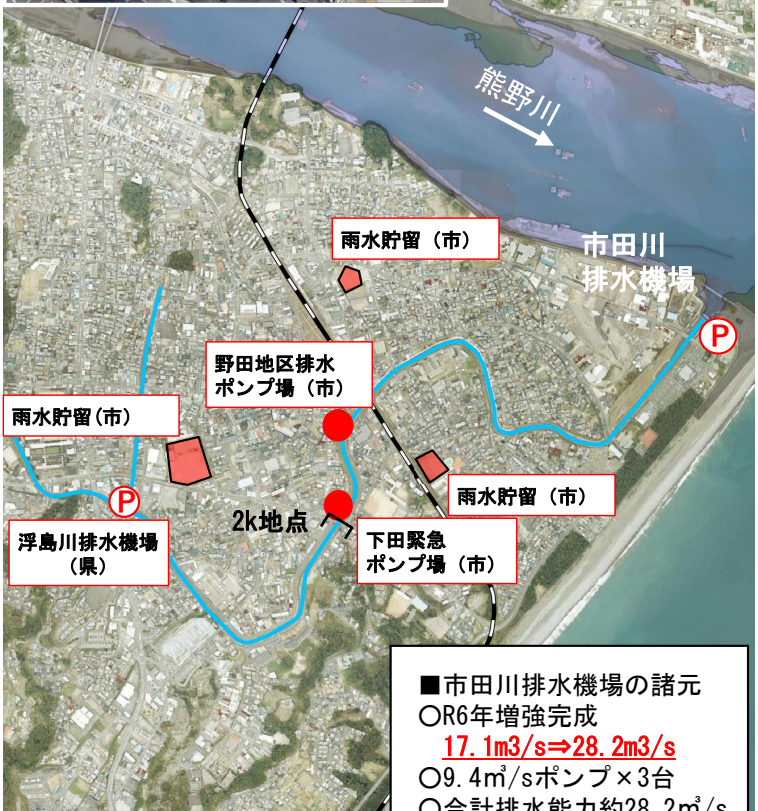


※令和元年台風10号時の水位(6.3m)

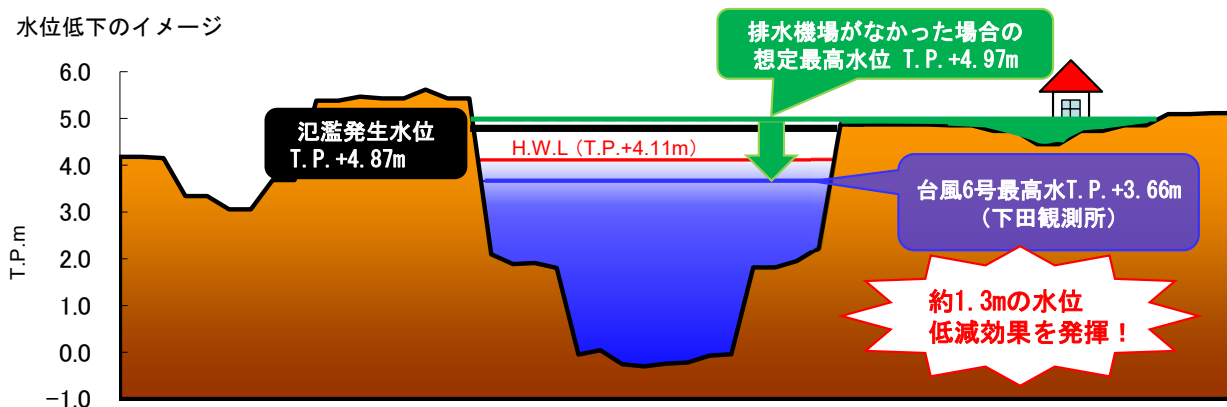


【熊野川・相野谷川】市田川排水機場が効果を発揮(速報)

- 令和8年台風第6号洪水では、国の管理している市田川排水機場のポンプを稼働させ、総排水量約56.2万 m^3 を排水し、市田川流域での内水氾濫による浸水被害を回避しました。(令和8年6月3日 1:10~8:50にかけて排水機場を稼働)
- 熊野川支川市田川では、平成29年台風21号の大規模な浸水被害を踏まえ、国・和歌山県・新宮市が連携して、「市田川流域大規模浸水対策計画」を策定し、県の浮島川排水機場や市の雨水貯留などと一体となって浸水被害の防止を図った。

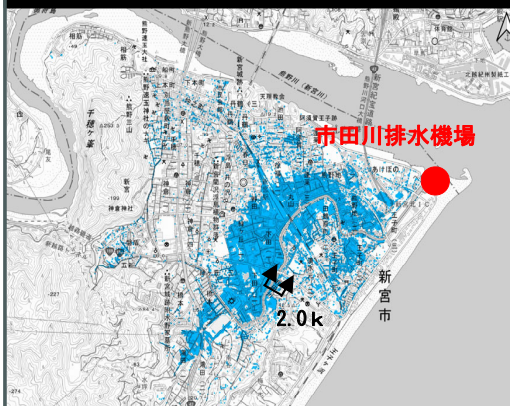


市田川排水機場による水位低減効果(水位低下・浸水回避)

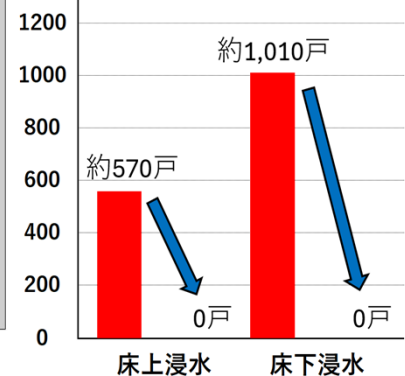


横断面は2.0kを使用

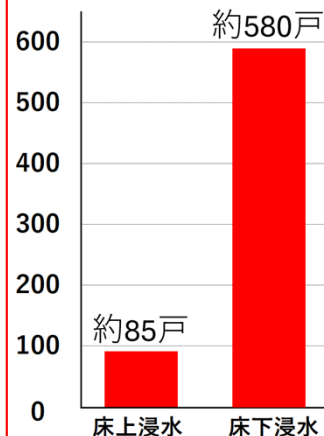
市田川排水機場が無かった場合の令和8年台風6号による浸水被害



総排水量約56.2万 m^3 を排水し、市田川の水位を約1.3m低下させ、浸水被害(床上約570戸、床下約1,010戸)を回避。

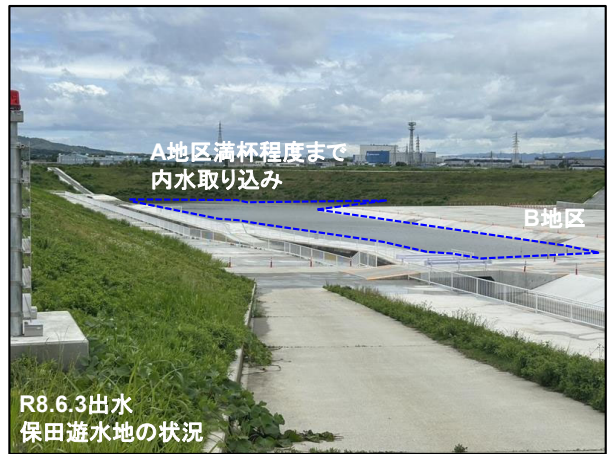
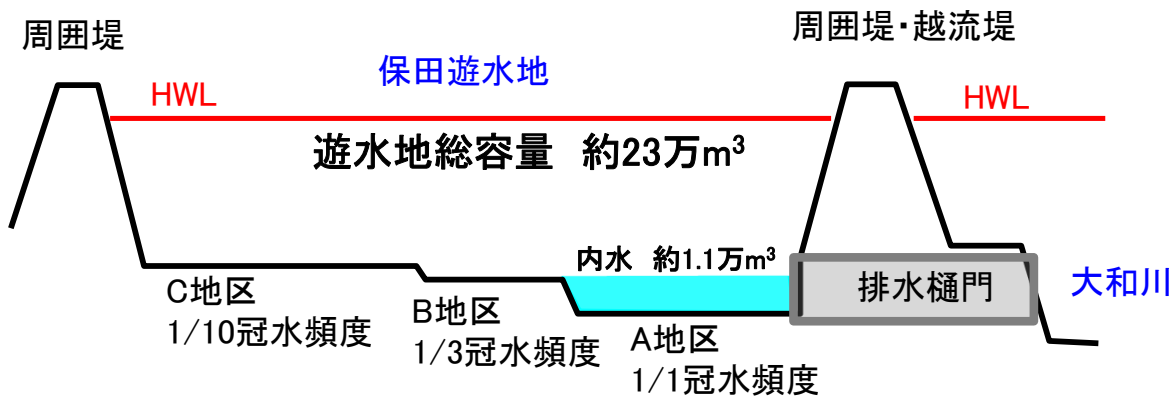


万一、令和6年にポンプを増(+11.1 m^3/s)していなかった場合の被害想定(約37ha浸水)

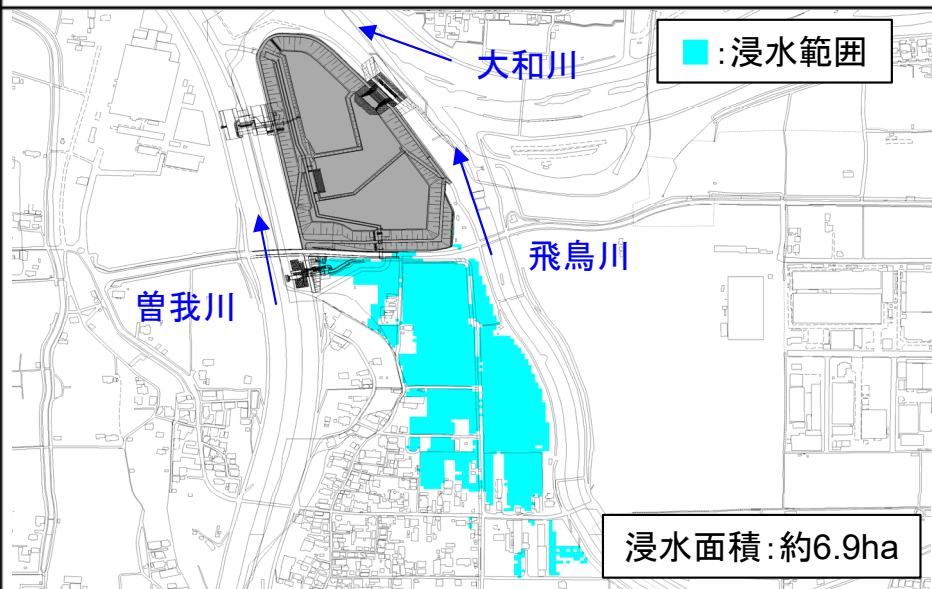


【大和川】 保田遊水地による内水軽減効果(速報)

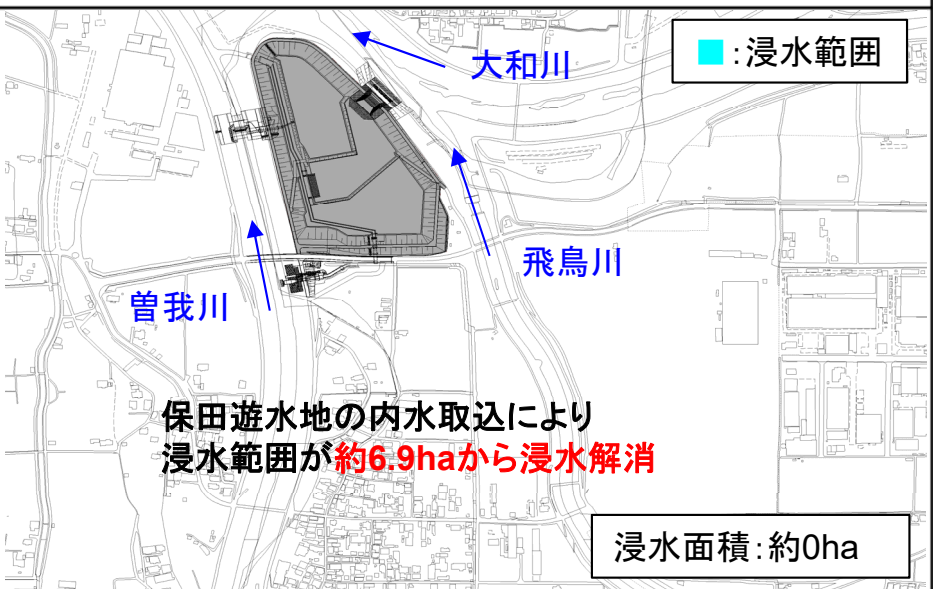
○令和8年6月3日出水において、保田遊水地で、A地区の満杯程度まで内水を取り込むことで、内水軽減効果が発現した。
 ○仮に、内水取込施設が無かった場合、約6.9haの浸水被害が発生したと推定される。



【内水取込施設なし】R8.6洪水浸水範囲



【内水取込施設整備後】R8.6洪水浸水範囲



※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

【服部川】小田排水機場が効果を発揮(速報) 6/10追加

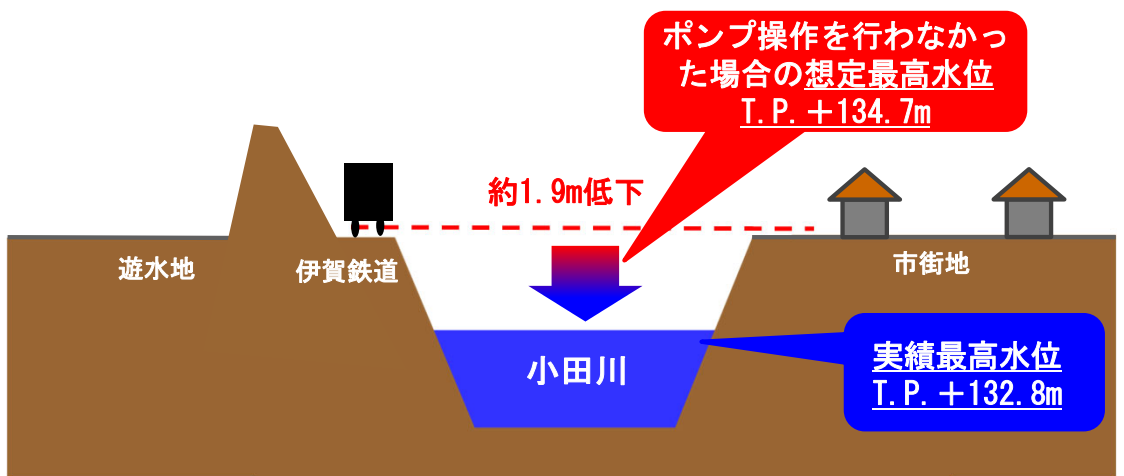
■ 令和8年台風第6号洪水では、「小田排水機場」のポンプを稼働させ、**総排水量約10.5万m³**の内水を排出し、小田川流域での内水氾濫による浸水被害を回避しました。(令和8年6月3日7時～11時にかけてポンプを運転)

■小田排水機場の位置と役割

小田排水機場は、平成9年に9m³/s (4.5m³/s×2基)で運用を開始しました。小田川流域に降った雨を服部川へ排水することにより、小田川流域の内水被害を軽減する役割を担っています。



■小田排水機場による水位低減効果(水位低下・浸水回避)



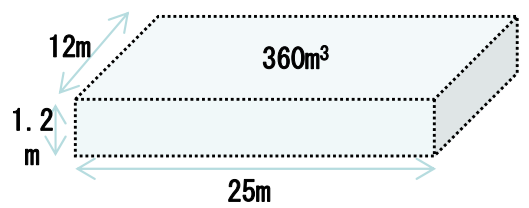
ポンプ操作を行わなかった場合の想定最高水位
T.P. +134.7m

実績最高水位
T.P. +132.8m



- 今回のポンプの稼働により、**総排水量約10.5万m³**の内水を排除し、小田川の水位を約**1.9m**低下。
- また、**伊賀鉄道や国道422号への浸水被害も防止し、公共施設の機能確保に貢献。**

排水量 **10.5万m³** 25mプール **292杯分**

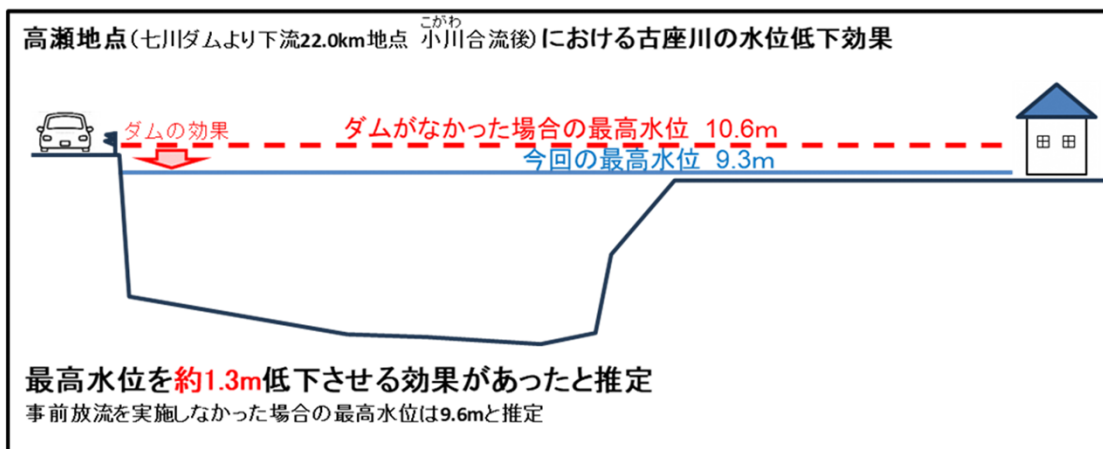
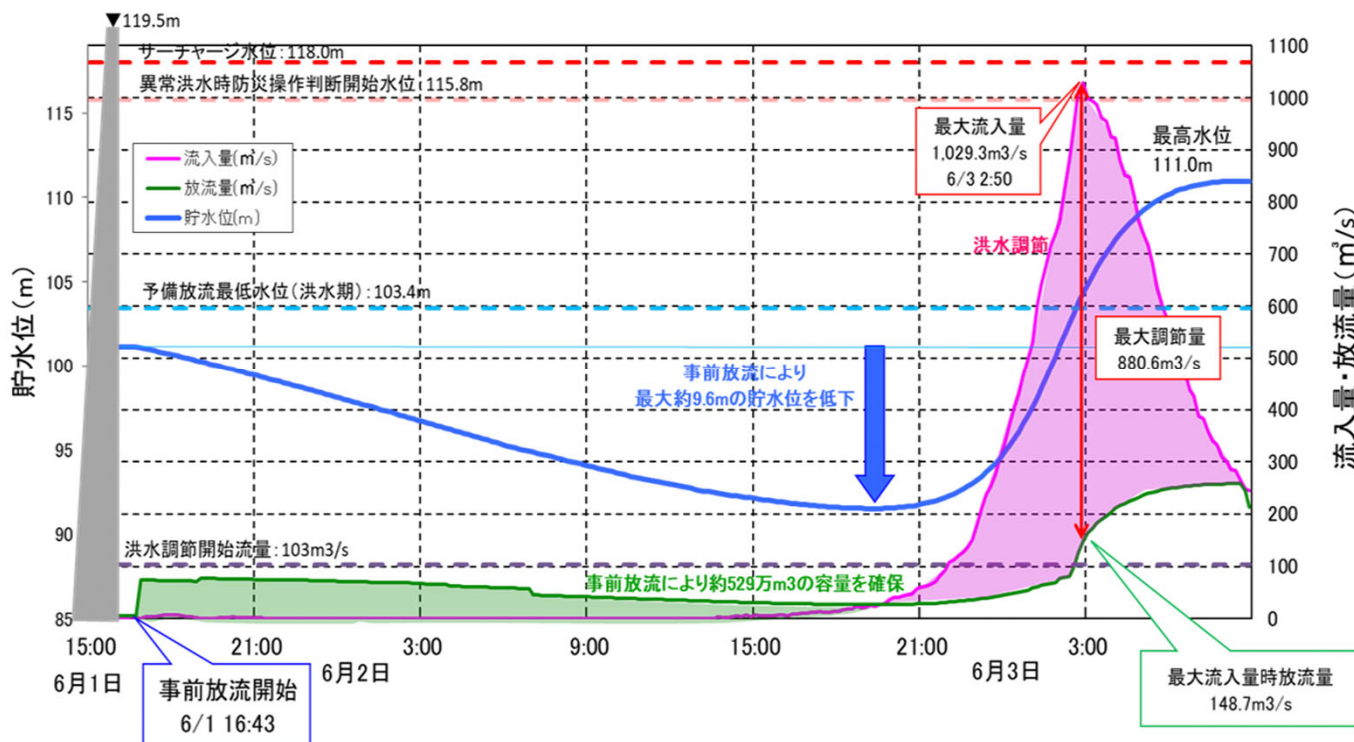


6月2～3日において、上野観測所では累加雨量 171.5mm、時間最大18.6mmの雨を観測しました。

※シミュレーションでは約13haの浸水被害が発生していたと想定

※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

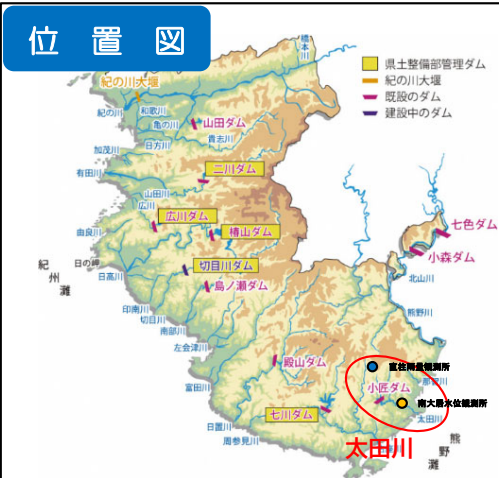
○古座川の七川ダムでは、最大880m³/sの洪水をカットし、高瀬地点における最高水位を約1.3m低下させる効果があったと推定される。



※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

参考【和歌山県】太田川の河川整備が効果を発揮(速報)

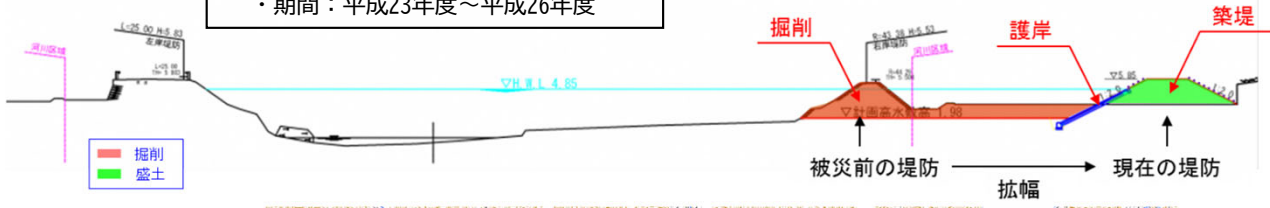
- 太田川(和歌山県)では、平成10年9月出水において15戸の家屋浸水被害が発生。
- 平成23年9月出水において308戸の家屋浸水被害が発生。
- 平成23年の災害復旧助成事業(H27完)等を活用して、緊急的かつ集中的に河川断面の拡幅や護岸の築造等を実施。
- 今次出水(6月2日、3日)では、整備計画規模に相当する豪雨(直柱(ひたはしら)雨量観測所24時間雨量336mm)を記録したが、河川整備により家屋浸水を解消。



事業概要

【太田川災害復旧助成事業】

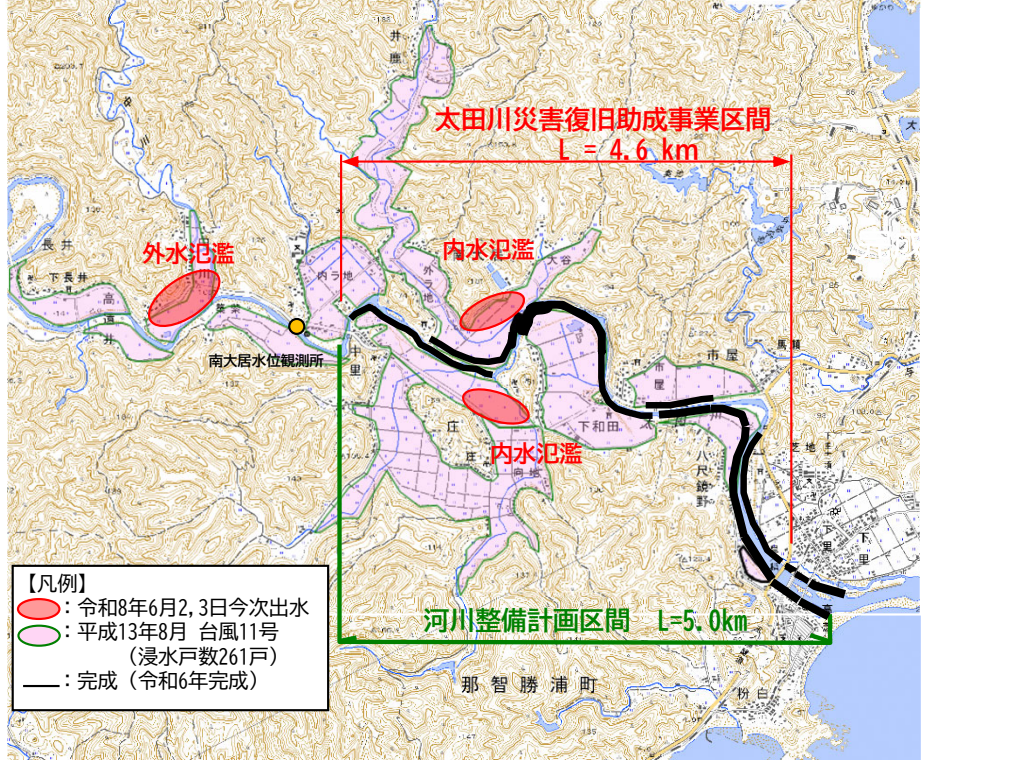
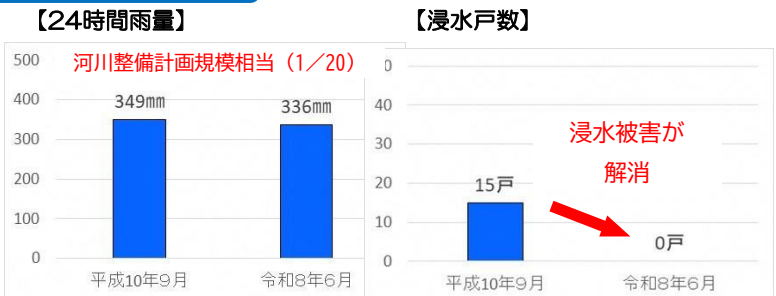
- ・延長：4.6km
- ・内容：掘削、築堤、護岸等
- ・期間：平成23年度～平成26年度



出水状況



整備効果



※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。22